

ちかひ

2022
彼岸号 VOL.164
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺

◆ 目次 ◆

- 開宗八百五十年に向けて ⑫
 - 賢問子行状記 ③③
 - 和泉式部と扇塚
 - お釈迦さまの十大弟子 24
 - インド **ド** **タ** **バ** **タ** 夫婦道中記 ⑤⑧
 - 総本山誓願寺だより
 - 何でも お寺探偵団 Vol. 62
- 瑠璃光山 西林寺



その時、
門は開かれた

元祖法然上人 開宗850年 慶讃大法要

令和6年4月21日～25日 厳修

浄土宗西山深草派
総本山 誓願寺

西山三鉢寺の旧本堂跡へ向かう石段。この手前に、法然上人が遊蓮房の念仏往生を見届けた当時の往生院があった。

開宗八百五十年に向けて

12

布教師会 田中宗龍

「浄土の法門と遊蓮房とにあへるこそ、人界の生をうけたる思出にては侍れ（浄土の法門と遊蓮房とに出会った事が、私（法然上人）が、この世に生を受けた意義を實踐できた思い出である。【私訳】）（法然上人行状画図）」

法然上人をして、念仏と比肩して述懐される遊蓮房円照とは如何なる人物で、何をもってそうならしめたのでしょうか。伝記に遊蓮房に関する記事は僅かです。少ない中に、法然上人が臨終の善知識となつて、今際の遊蓮房の九遍の念仏に「今一遍」と念仏を勧め、高声念仏で応え、息絶えた逸話が記されています。

まず、遊蓮房の俗縁について、父は保元・平治の乱の中心、信西入道（藤原通憲）、実兄は安居院澄憲、異母弟には明遍僧都、甥には法然門下の一番弟子信空とその高弟が連なり、加えて甥には笠置の貞慶がいるという、法然上人との因縁浅からぬ間柄です。遊蓮房は法然上人よりも六歳年少ですが、善導大師の称名念仏を實踐する念仏聖

でしたので、俗縁に加え、善導帰依の共通の一致をみても、この二人には宿命的なものを感じます。

次に、二人の出会いについて、遊蓮房は西山広谷で念仏の日暮しを送つておられました。一方その時、法然上人は比叡山を下り最初に定住されたのが同じく西山広谷です。時に法然上人、善導大師の『観經疏』によつて浄土宗の開立を契機に専修念仏の内証を携えての下山ということで、状況的にみて、善導大師の称名念仏の實踐者、遊蓮房に会い、念仏の内証を確固たるものとする、そのための下山であったのではないのでしょうか。

しかし、遊蓮房と生活を共にしている間、法然上人は念仏の法門を、積極的に弘めることはありませんでした。末法の凡夫のために辿り着いた念仏の法門、本来なら直ぐにでも布教すべきなのに、法然上人は逡巡（しゆんすん）されていたようです。この事は、釈尊成道の心境を想起させます。その述懐に、「私（釈尊）が悟つたこの法を、果たして

どの程度の人が理解できるだろうか。たとえ法を説いたとしても、誹謗したり、曲解したり誤解して却つて悪道に墜ちてしまう。このまま法を説かないほうが良いのかもしれない。【私訳】（采西禪師『釋迦八相』）このように思われた釈尊に対し、梵天という神さまが直々に釈尊に説法を頼みます。そして、対機説法という形でその悟りの一部が説かれ、現代までお経として伝わっています。

法然上人にも、お釈迦さま同様、念仏の布教には躊躇いが有つたでしょう。しかし、遊蓮房とふれあい、ともに生活し、さらに臨終の善知識となる経過で、念仏への信仰がますます深まり、念仏を弘めてゆく決意が確固たるものとなりました。遊蓮房の往生の後、間もなく、その決意とともに住まいを東山吉水に移し、念仏布教に邁進され、その勢いは、燎原の如く日本全国に行き渡り、今に至つております。お釈迦さまに梵天の勧請があつたように、法然上人念仏弘通の裏には、遊蓮房の存在が無くては成らないものでした。冒頭の法然上人の述懐はそれを裏付けるものであります。

法然上人の「今一遍」の声に応えた遊蓮房の一念こそが、日本における念仏の産声となりました。以来その念仏を紡いでくださったご先祖さまのおかげをもって、当たり前前に念仏が称えられる今があります。そのことに感謝して、次につなげる念仏の日暮しを送りましょう。

賢問子行状記

33

宝蔵寺住職 小島英裕

第二十一話

「沙弥円能、益を蒙る」(前編)

円能は奈良県の出身で、得度は受けましたが、まだ正式な僧侶ではない。「沙弥」という位を持っていました。十八歳の時、奈良の信貴山に登り読書を重ねる学問を積みました。修学はあまり進みませんが、真面目な性格で、常に阿弥陀さまを信じ、ひたすら極楽浄土のある西に向かつて念仏を称えていました。

ある時、円能は『薬師経』の講義を聞き、「お薬師さまを念じれば、西方極楽浄土への道を示していただける」と思いました。幸いなことに奈良の弘文院の丈六のお薬師さまは靈験あらたかです。円能は、弘文院への百日参を始め、毎日お薬師さまに三千礼拝を行い「出来ることなら生き

ている今、お薬師さま、阿弥陀さまの真のお姿を拝みたい」と願いました。

そして、百日参を始めてから九十六日目のことです。円能が弘文院に向かっていると、突然、広野で東方よりお薬師さまが虚空に顕現なされて、それと同時に西方より阿弥陀さまも菩薩聖衆と共に顕現なされたのです。円能は仏さまの真のお姿を目の当たりにして感動のあまり、両手・両膝・額を地面に投げ伏して礼拝をしました。円能は、この出来事をきっかけに益々信心を固め、百日参ののち、道場を誓願寺に移して本尊阿弥陀如来を常に敬い、礼拝、称名を怠りませんでした。ところが、三年後の久安三年(一一四七)三月三十一日、円能は五十七歳で急死しました。しかし体は温かいままです。親族は「もしかすると蘇るかもしれない」と二週間葬りませんでした。しかし円能は蘇らず、ついに墓所に遺体を安置しま

した。毎日、遺体の様子を見に行きましたが、鳥や獣が近付くことはなく、日が経つても体は朽ち果てません。ところが五月八日の午前十時、忽然として円能は蘇りました。蘇った当初は言語がはつきりしませんでしたが、三年が経つと以前のように話せるようになったので、円能が眠っていた時に体験した不思議な出来事について語り始めました。

「私が死んで冥途に着いたら六人の僧が私を呼んで空に導いたのです。私が、

「どこに行くのですか？」

と問うと僧は、

「閻魔王宮に向かいます」

と答えました。私は、

「毎日念仏を申して極楽浄土に生まれるように願っていたのに、どうして閻魔王宮に行くのですか？」

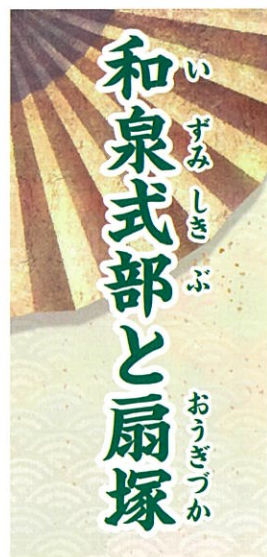
と堅く辞退しました。僧は、

『まず閻魔王宮に行つて愛憎から生まれる苦しみを見たあとに極楽へ導きます』

と私に言いましたが、それでも固く拒んでいると僧は、

『それならば、まず浄土を拝みましよう』と瞬時に私を極楽の東門に導いてくれたのです。

(つづく)



世阿弥の作と伝えられる謡曲『誓願寺』は、平安中期の女流歌人であった和泉式部と時宗の開祖一遍上人が主な役となつて誓願寺の縁起と霊験を物語ります。この謡曲の中で、和泉式部が歌舞の菩薩となつて現れること

が、能楽をはじめ舞踊など芸能の世界で尊崇され、江戸時代から誓願寺へ参詣するその道の人が数多くありました。

特に舞踊家が多く、文化・文政・天保(一八〇四〜四四)のころに京都で活躍した篠塚流の祖・篠塚文三郎(梅扇)は、室町時代に流行した幸若舞の系統を引く能楽的な色彩と歌舞的な色彩を調和させた優れた芸風を示したといわれ、天保年間には山村舞とともに



扇塚



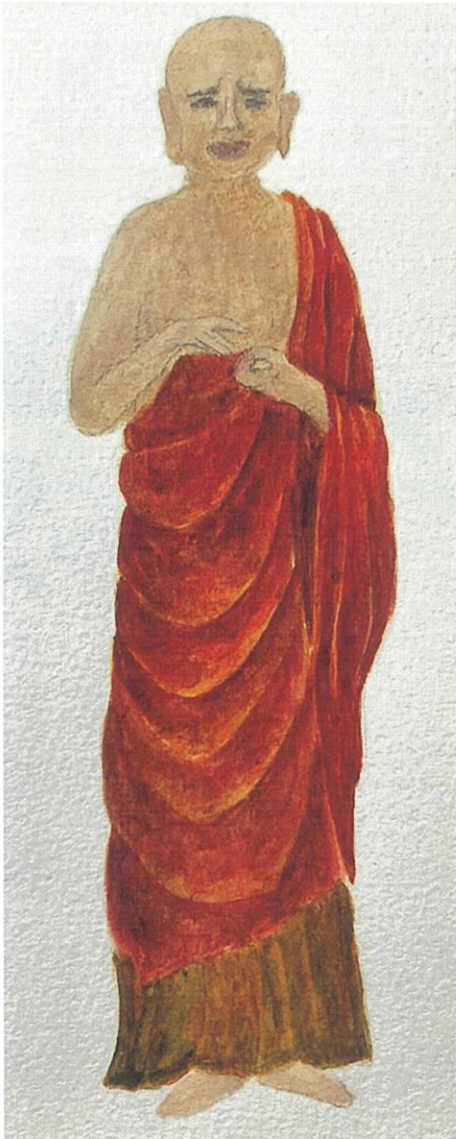
奉納扇子



歌舞の菩薩となる和泉式部
(誓願寺縁起絵巻より)

京都・大阪で大いに流行しましたが、彼ら舞踊家の中に誓願寺の和泉式部信仰がありました。その信仰は現代まで伝承されております。誓願寺の「扇塚」に、芸道上達を祈願して「扇子」を奉納することには、このような深い歴史的な意味が秘められているのであります。

誓願寺では「奉納扇子」を授与しております。誓願寺へお参りなされた際は、是非扇子に願いごとを書いてご奉納下さい。皆さまの願いはきっと叶うことでしょう。



密行第一羅睺羅尊者

お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子

24

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

密行第一羅睺羅尊者(その1)

羅睺羅尊者は、お釈迦さまの実の息子です。お釈迦さまが出家される前のことです。お釈迦さまが十九歳、悉達太子と呼ばれていた頃です。父である浄飯王は、悉達太子が城を出て出家しないよう、お妃を娶らせました。そのお妃が善覚長者の娘である耶輸陀

羅姫です。悉達太子は強引に結婚させられました。

しかし無理やり結婚させられた悉達太子にとって生活は苦痛であり、物思いにふける日々が続きました。妻の為に楽しく、明るく振舞おうと思えば思うほどむなしくなります。結婚生活に嫌気がさしていました。

妻である耶輸陀羅姫は夫の様子を

見て、優しい言葉をかけたり、妻としての振舞をします。しかし、夫は何も応えてくれません。物思いにふけり、ぼーっとしている毎日です。それでもお妃として、妻として、夫を支えようと努力しました。しかし、肝心な夫は何も応えてくれません。

「なぜこの人は私と結婚したのでしょうか？」

そんなことばかりを考える毎日でした。それでも結婚生活を続けること十年、耶輸陀羅姫がご懐妊しました。

「これで夫も変わってくれるはず、我が子の為に。私のお腹にいるこの子が、私達の未来を明るくしてくれるはず。嬉しい、本当に嬉しい」

耶輸陀羅姫は自らのお腹に宿った新しい命を喜び、希望に満ち溢れていました。

十月十日たった後、耶輸陀羅姫は玉のような男の子を産みました。その男の子が羅睺羅尊者です。

(つづく)



東龍寺住職 岩瀬賢良

帰国の二日前

コンノート・プレイスで土産物の下見を兼ねた買い物で、大きな調度品や置物が目につく店が多い中、小さな物産店は大きな物を置けない分、小物が沢山あつてとても楽しい。パキスタンと国境を接する、広い砂漠のラージャスターン州の店は、女性

性が一人だけの小さな店で、物でできたいくつかの壁掛けに目が行った。色彩豊かなガネーシャ（象の姿の神）が九〇ルピー、ガルダ・マスク（日本ではカラス天狗だろう）が一五〇ルピー、太陽の顔をデザインした大きな布の壁掛けが四五〇ルピー、合計六九〇ルピー（約一七三〇円）のところをダメ元で交渉してみたら、あっさり五七〇ルピー（約一四三〇円）にしてくれたのはとても嬉しかった。

オート・リクシャーを拾い、

ニュー・デリー駅前から西に抜ける通り、メイン・バザールに向かった。この通りは安ホテルの林立する所で、色々な店がたぐさんあり、世界中の貧乏旅行者（？）が集まってくる。インド最後の二日間を投宿するに、とても動き易い場所、僕たちはニュー・デリー駅前降りて、メイン・バザールに入

行つた。八九年、最初に泊まったホテルもここで、ホテルの看板を探しながら西に向かつて歩いて行くと、その「ホテル・ブライト」の名前があつた。狭い間口、そのホテルは以前とほとんど変わっていなかった。当時でも古い建物だったので宿泊するにはあまり乗り気ではなかったが、安いのが取り柄で、取り敢えず聞いてみたところ、満室との答に僕は内心ホッとした。更に一〇〇メートル余り行くと、小ぎれいで間口の広いホテルがあり、値段を聞くと安ホテルの金額ではなかったので断

り、少し引き返して、ある程度の目星を付けておいた「ホテル・パヤル」という名のホテルに入り、値段を聞き部屋を見せてもらった。二階の南側で、メイン・バザールの通りが見おろせる部屋で、広くはないが古くもなかった。そこで決めた。前払いで二泊分、五〇〇ルピー（約一二五〇円）と、翌々日の空港へのタクシー代二五〇ルピー（約六二五円）を払って再び僕たちは階段を上がった。落ち着く暇もなく、朝方オールド・デリー駅にバッグを預けたままだったので、利子を部屋で休ませ一人で取りに出かけた。



早朝の野菜市場
デリー、「ホテル・パヤル」の屋上から

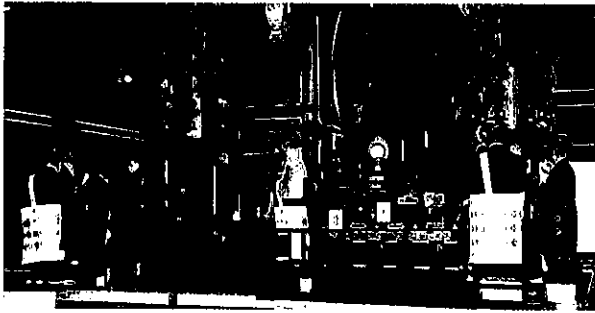
総本山誓願寺だより

春彼岸法要のご案内

総本山誓願寺にて、春の彼岸法要をお勤め致します。感染症に十分お気をつけてご参詣くださいますようお願い申し上げます。

合掌

期間 三月十八日(金)～二十四日(木)
時間 午前十時～午後三時
回向料 一霊 三千元



*法要はお施主さま一組ずつ、本堂でお勤め致します。
*ご来山の折には「納骨カード」をお持ちください。お持ちでない方は「案内封筒」を受付時にご提示くだされば、再発行致します。
*ご不明な点がございましたら誓願寺(〇七五-二二一-〇九五八)までお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

おこな行事予定

三月

●十四日(月) 善導忌六阿弥陀功德日

●十八日(金)～二十四日(木) 春彼岸

四月

●十五日(金) 六阿弥陀功德日

●二十三日(土)～二十五日(月) 元祖法然上人御忌法要

五月

●十八日(水) 六阿弥陀功德日

●四月(土) 和泉式部忌

●十九日(日) 六阿弥陀功德日

●七月 十四日(木) 六阿弥陀功德日

●八月 十五日(月) 六阿弥陀功德日

●十六日(火) 精霊送り・盆施餓鬼

○各行事を予定させて頂いておりますが、世の中の状況により変更、又は中止になる場合がございます。その際は、誓願寺ホームページにて公表させて頂きます。何卒ご了承くださいませ。よろしくお願い申し上げます。

クイズコーナー

【問題】

5頁「お釈迦さまの十大弟子」より、お釈迦さまのお妃である耶輸陀羅姫は誰の娘でしょうか？
漢字2文字でお答えください。

〇〇長者

ハガキに、「答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想」を書いてご応募ください。なお、ご提供いただいた個人情報につきましては、プレゼントの発送のみに利用いたします。今回は西林寺さまよりお墓参りセットを5名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒443-0105

愛知県蒲郡市西浦町北馬相十一番地

覚性院内 ちかい編集係

答え 〇〇〇〇
郵便番号
住所
氏名
電話番号
菩提寺(だんな寺)
感想

【締切】五月三十一日

(消印有効)

ちかい 第164号

発行日 令和四年三月五日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (〇七五) 二二一-〇九五八
FAX (〇七五) 二二一-二〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL https://www.fukakusa.or.jp/

何でも

お寺探偵団

さいりんじ
西林寺

Vol.62



今回は愛知県西尾市の瑠璃光山
西林寺を訪ねました。

profile

宇崎誠道師(西林寺第21世) 69歳
安城市出身。昭和48年、大本山円福寺にて法脈相承。昭和55年、西林寺住職拝命。

ご住職には私が小さい頃から非常にお世話になりました。たくさんのお話を聞かせていただき、笑顔と躍動感あふれる立派なお声をお持ちの、多くの檀家さまから慕われていらつしやるご住職です。2人目のご子息とは保育園からの同級生で、西林寺さまに遊びに行ったときはいつもご夫婦で温かくお迎えしていただいたことをよく覚えております。これからもお元気で過ごしていただけることを願っております。

探偵 MK

Q1 お寺の歴史を教えてください。

Q2 お寺にはどんな仏さまが祀られていますか？

Q3 住職としての心掛けを教えてください。

Q4 「ちかい」の読者に何か頂けませんか？

当山の歴史は1100年を超え、平安時代に開創された当時は真言宗でありました。江戸時代に入るころに浄土宗へと改宗し、今に至ります。由緒書きには「心譽門哲と云う僧、四間に二間半の萱葺の堂を建立し、初めて浄土宗となし念仏弘通す」とあります。1717年に大檀家さまのご助力があり、その萱葺の堂は後に現在の本堂となり、それに続いて御本尊となる阿彌陀如来、観音菩薩、勢至菩薩が安置されました。

たと伝わっており、現在は当山の裏堂に秘仏としてお祀りしています。不動明王は智證大師の作と伝わっています。また、境内には稲荷大神をお祀りするための稲荷堂があります。

私が住職としてやってきた頃の当山は無住であり、同じ教区のご住職が当山の住職を兼任されておりました。当時は本堂も境内も荒れており、修理をし、仏具を揃えて西林寺を立て直した自負が私にはあります。先日、本堂で法事を行った檀家さまに「このお寺も本当に立派になったね」と仰っていただき、とても嬉しい思いでした。これからも西林寺がより一層、お檀家の方々にも喜んでいただけるように尽力する次第です。

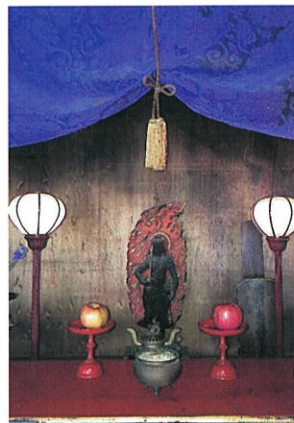
お墓参りセットを5名さまに差し上げます。



山門



薬師如来



不動明王



稲荷堂内

【交通】
六万石くるりんバス寺津矢田線
「新在家」下車徒歩2分

【主な行事】
御忌 1月 第4日曜
弘法さん 旧暦3月21日
盆施餓鬼 7月 第4日曜
西山忌 11月 第4日曜

【お問い合わせ】
〒444-0311
愛知県西尾市新在家町下屋下44
TEL.0563-56-2935